



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 メタウォーター株式会社
 コード番号 9551 URL <http://www.metawater.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 木田 友康
 (氏名) 中村 靖

TEL 03-6853-7317

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	7,625	—	△3,122	—	△3,030	—	△2,099	—
27年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 △2,031百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
28年3月期第1四半期	円 銭 △80.98	円 銭 —
27年3月期第1四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年3月期第1四半期	百万円 104,783	百万円 44,988	% 42.8
27年3月期	114,257	47,773	41.7

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 44,884百万円 27年3月期 47,674百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	円 銭 —	円 銭 2,900.00	円 銭 —	円 銭 29.00	円 銭 —
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	29.00	—	29.00	58.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の平成27年3月期の年間配当金は58円00銭であります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	3.8	8,400	2.2	8,100	△1.4	5,200	4.2	200.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	25,923,500 株	27年3月期	25,923,500 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	— 株	27年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	25,923,500 株	27年3月期1Q	— 株

(注) 当社は、平成26年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。なお、前第1四半期連結累計期間については、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、原油価格下落や各種政策により、企業収益が改善し、設備投資の拡大や良好な雇用環境の持続など、景気は緩やかな回復基調を維持しております。また、世界の経済状況は、アメリカの金融政策正常化に向けた動きや原油価格下落の影響もあり、一部の地域に景気の弱さがみられるものの、全般的に緩やかな景気回復が続いております。

当社グループを取り巻く国内事業環境においては、継続的な公共投資の抑制と、人手不足に起因する人件費の高騰等により、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、平成27年5月29日に「中期経営計画（平成28年3月期～平成30年3月期）」を策定し、国内外の事業基盤や新たなソリューションの開発を強化するとともに、国内の地域企業やパートナー企業との連携による事業領域の拡大を進めてまいります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は76億25百万円、営業損失は31億22百万円、経常損失は30億30百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は20億99百万円となりました。

なお、当社グループの事業の特徴として、官公庁や地方自治体向けの国内公共事業が大半を占めていることから、売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、当第1四半期連結累計期間の業績は低い水準になる傾向がありますが、概ね予想通りに推移しております。また、受注高は281億86百万円となり、順調に積み上がっております。

セグメント別業績は以下のとおりです。

(プラントエンジニアリング事業)

受注高は134億91百万円、売上高は46億36百万円、営業損失は21億76百万円となりました。受注高は、10億円以上の大型EPC(注1)案件の受注等により、順調に積み上がっております。売上高・営業損失は、売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏る傾向があるものの、順調に推移しました。

(サービスソリューション事業)

受注高は146億95百万円、売上高は29億89百万円、営業損失は9億45百万円となりました。受注高は、新規大型PPP(注2)案件の受注等により、順調に積み上がっております。売上高・営業損失は、売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏る傾向があるものの、順調に推移しました。

- (注) 1. EPC(Engineering, Procurement and Construction)：設計、調達、建設を含む建設工事
2. PPP(Public Private Partnership)：官民パートナーシップ

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ94億73百万円減少し、1,047億83百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が増加しましたが、受取手形及び売掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ92億75百万円減少し、956億47百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億98百万円減少し、91億36百万円となりました。

流動負債は、前受金が増加しましたが、買掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ66億74百万円減少し、417億1百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債が減少したことから、前連結会計年度末に比べ14百万円減少し、180億93百万円となりました。

純資産は、季節的要因による親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当の支払により、前連結会計年度末に比べ27億85百万円減少し、449億88百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績につきましては、概ね予想通り推移する見通しであり、平成27年4月24日発表の予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第1四半期連結累計期間
(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第1四半期連結累計期間
(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,534	43,232
受取手形及び売掛金	66,549	29,272
有価証券	11,000	11,000
仕掛品	2,753	5,696
貯蔵品	2,394	2,264
その他	2,691	4,182
流動資産合計	104,923	95,647
固定資産		
有形固定資産	1,706	1,626
無形固定資産	2,139	2,023
投資その他の資産	5,489	5,485
固定資産合計	9,334	9,136
資産合計	114,257	104,783

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,664	21,906
1年内返済予定のPFI等プロジェクトファイナ ンス・ローン	801	821
未払法人税等	2,994	110
前受金	5,130	14,035
完成工事補償引当金	875	798
受注工事損失引当金	68	142
その他	6,840	3,885
流動負債合計	48,376	41,701
固定負債		
PFI等プロジェクトファイナンス・ローン	13,663	13,665
退職給付に係る負債	4,444	4,428
固定負債合計	18,108	18,093
負債合計	66,484	59,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,946	11,946
資本剰余金	15,080	15,080
利益剰余金	23,273	20,422
株主資本合計	50,300	47,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	32
為替換算調整勘定	11	△12
退職給付に係る調整累計額	△2,670	△2,585
その他の包括利益累計額合計	△2,626	△2,564
非支配株主持分	98	103
純資産合計	47,773	44,988
負債純資産合計	114,257	104,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
売上高	7,625
売上原価	7,686
売上総利益	△60
販売費及び一般管理費	3,061
営業損失(△)	△3,122
営業外収益	
受取利息	63
受取配当金	33
為替差益	58
その他	5
営業外収益合計	160
営業外費用	
支払利息	37
固定資産処分損	31
その他	0
営業外費用合計	69
経常損失(△)	△3,030
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,030
法人税等	△937
四半期純損失(△)	△2,093
非支配株主に帰属する四半期純利益	5
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,099

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△2,093
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△0
為替換算調整勘定	△23
退職給付に係る調整額	85
その他の包括利益合計	61
四半期包括利益	△2,031
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,037
非支配株主に係る四半期包括利益	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,636	2,989	7,625	—	7,625
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,636	2,989	7,625	—	7,625
セグメント損失(△)	△2,176	△945	△3,122	—	△3,122

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。